

菊名記念病院

年報(2022年4月～2023年3月)発刊にあたって

ごあいさつ

前年度のご報告をお届け致します。

ご笑覧戴き、ご意見等を賜われれば幸甚に存じます。

本年報の掲載期間後に新型コロナウイルス感染症はⅡ類相当からⅤ類へと変更された。通常診療活動の早期の復活が求められるところであるが、前年の当院の停滞した諸種診療指標の危機的な結果からは、残念ながらその改善の端緒さえ見出し得ず、抜本的な改革の必要性だけが際立って描出されてしまった。同感染症の襲来は受療行動の変容を齎し、20年後の医療状況が前倒して到来したとも考えられており、その劇的な変化への的確な対応が各医療機関に求められている。前号巻頭言に於いて言及した様々な改革への着手のうち、人事考課制度の改変、及びそれと並行した教育制度の再構築に関しては、部分的試行でとても成果を求められる段階ではないが、着手できたこと自体は大きな前進と捉えている。低迷する各診療指標の分析から数値改善のための様々な対策を模索することも必要であるが、当院の置かれている環境の変化と当院に求められる医療機能に対し、自らの変革を含めた真摯な対応が不可欠であり、全職員がこのことを共有し、一丸となって邁進することが、当院に課せられた使命であり唯一の生き残りの道と考えている。

職員諸氏には更なるご理解、ご協力をお願いしたい。

皆様の忌憚ないご意見、ご指導、ご協力をお願い致します。

理事長 山本 登



CONTENTS

001.....■理事あいさつ	049.....■診療部	158..... 医事課
002.....■コンテンツ(目次)	050.....循環器センター	161.....メディカルクラーク
003.....■基本理念	051.....循環器内科	
004.....■院長あいさつ	053.....心臓血管外科	163.....■地域医療サービスセンター
005.....■病院目標	055.....下肢静脈瘤センター	164.....地域医療連携室
	056.....消化器センター	169.....医療相談室
007.....■病院概要	057.....消化器内科	174.....入院支援室
008.....診療科目・学会等施設認定	059.....外科	176.....広報戦略部
009.....施設概要	062.....総合診療科	
010.....組織図	065.....内科	179.....■医療安全管理室
011.....職員数	067.....血液・腫瘍内科	
012.....当院のできごと	068.....脳神経外科	181.....■人材開発室
014.....地域医療支援病院	070.....整形外科	
015.....教育セミナー	074.....泌尿器科	183.....■人間ドック・健診部
016.....院内症例検討会／糖尿病教室	077.....放射線科	
017.....公開市民講座	079.....皮膚科	185.....■菊名記念AAクリニック
018.....個人情報保護方針	081.....女性外来・乳腺センター	
	083.....乳腺外科	189.....■YMG在宅支援総合センター
019.....■統計	084.....救急科	190.....YMG在宅支援総合センター 組織図
020.....外来患者統計	086.....臨床研修医	191.....YMG訪問看護ステーション新横浜
022.....入院患者統計	088.....麻酔科(中央手術室)	195.....YMG居宅介護支援センター新横浜
024.....診療科別患者統計	092.....病理診断科	197.....YMG訪問介護ステーション新横浜
027.....病棟別患者統計		200.....YMG訪問看護ステーション菊名
028.....救急患者統計	093.....■診療補助部	
031.....2022年度退院分 ICD-10(2013年版)による疾病別・科別統計	094.....薬剤部	203.....■学会・研究会・誌上发表
036.....2022年度退院分 ICD-9-CM(2003年版)による手術および処置統計	108.....臨床検査科	204.....学会・研究会発表/誌上发表
038.....解剖・死亡統計	112.....画像診断部	
	119.....リハビリテーション科	209.....■会議・委員会一覧／委員会活動報告
039.....■臨床指標・質評価指標	123.....臨床工学科	210.....会議・委員会一覧
040.....主要診断群分類統計 件数上位20疾患(DPC対象患者のみ)	128.....栄養科	211.....委員会組織図
041.....退院時転帰比率(DPC対象患者のみ)	131.....医療情報システム室	212.....医療安全管理室
042.....退院先(DPC対象患者のみ)病床利用率	133.....経営支援室	213.....医療安全推進委員会
043.....手術実施症例1件当たりの外保連手術指数(外科医師数及び手術時間補正後)急性期脳梗塞に対する3日以内のリハビリ開始率	135.....診療録管理室	214.....ICT(Infection Control Team)
044.....大腿骨骨折退院患者の手術当日から数えて3日以内リハビリ開始率救急車・ホットライン応需率救急搬送により入院した症例の救命率(31日後生存/救急搬送入院)(DPC対象患者のみ)	137.....救急救命科	217.....病院感染対策委員会(Infection Control Committee: ICC)
045.....患者満足度(外来)患者満足度(入院)褥瘡発生率	139.....■看護部	218.....新型コロナウイルス感染症対策(ICT監修)
046.....入院患者の転倒・転落発生率死亡退院患者率(全退院患者(DPC+出来高))後発医薬品(ジェネリック医薬品)利用率	140.....看護部長あいさつ	220.....AST(Antimicrobial Stewardship Team)
047.....18歳以上の身体抑制率バンコマイシン投与患者の血中濃度測定率	141.....看護体制	221.....NST(Nutrition Support Team)・NST運営委員会
048.....退院患者医療圏(全退院患者(DPC+出来高))	143.....運営状況	223.....輸血療法委員会
	144.....教育活動(ラダー教育は教育分科会の項)	224.....呼吸療法委員会
	145.....特に力を入れたこと	225.....薬事委員会
	146.....次年度の課題	226.....化学療法委員会
	147.....委員会分科会活動報告 看護の質向上推進活動	227.....褥瘡対策委員会
	148.....看護教育部門 看護部現任教育分科会	228.....クリティカルパス委員会
	150.....医療安全対策部門 看護部安全管理分科会	229.....認知症サポートチーム
	151.....医療安全対策部門 看護部感染管理分科会	231.....ISO事務局
	152.....情報管理部門 看護部記録管理分科会	
	153.....■事務部	237.....■くたかけ会
	154.....2022年度を顧みて	240.....■関連協力施設
	155.....総務課	241.....■年報誌編集委員・編集後記
	156.....経理課	
	157.....物流管理課	

開設理念

良質で信頼される高度医療の提供

安心と思いやり

病院の使命：ミッション

質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献する。

病院ビジョン

更に良い病院へ

病院の基本方針

菊名記念病院は急性期医療を提供する病院である。

菊名記念病院は患者の安全を最優先に考える。

菊名記念病院は誰からも信頼される病院であり続ける。

菊名記念病院は地域医療の発展に貢献する。

菊名記念病院は最新でより良い医療を提供するために研鑽を怠らない。

菊名記念病院は働き易い職場でなければならない。



日本医療機能評価機構
2022年1月4日更新
(一般病院2機能種別版評価項目3rdG:Ver20.)



ISO9001：2015
登録証番号 JQA-QMA14243
2017年10月27日認証取得



ピンクリボン運動を
応援します

院長あいさつ



院長

村田 升

2022年度年報誌をお届け致します。

2022年度の終盤は新型コロナウイルス感染症との戦いの出口が見えかけてきた時期だったと記憶しておりますが、途中ではウイルスの遺伝子変異の結果、デルタ株からオミクロン株へと変化し、人への反応性の変化のおかげで重症肺炎の患者は減少しましたが、患者の数は大きく増加し、一時は救急受け入れの制限を余儀なくされたり、院内での感染の広がりを招いたり、まだまだ同感染症に翻弄され続けた一年であったと思います。

ウイルスの遺伝子変異は、ウイルスの進化であるとも言えます。進化といえば、先日古生物学の研究者である国立科学博物館副館長の真鍋真先生の講演を拝聴する機会があり、今の学説では恐竜が進化し現在の鳥類になった事、即ち鳥類は恐竜であると結論されている事を学びました。

よく組織の変化も生物の進化に例えられます。コロナ禍を経て、病院の外部環境、内部環境がかなり変化してきました。恐竜が鳥に「進化」して現代の空を飛翔しているように、コロナ禍を経て、内外の環境の変化に合わせて我々の病院も何等かの「進化」を遂げなければならない時が来ているように感じます。“進化した先の何か”が何かは、私のような浅学非才の者には明確には見えてきませんが、この年報誌の内容がそれを読み取るヒントになれば良いな、などと考えております。皆様の参考にもなるかも知れません。そうであれば幸甚であり、2022年に苦勞した甲斐があるというものです。

院長 村田 升

令和4年度(2022年度) 病院目標

稼働病床に対して95%稼働を目標とする。

● 経 営

[安定経営] 利益率 +1.0%/月 (空床補助なし) ~ +1.7% (空床補助あり)

● 安 全

[Level III b以上のアクシデント] 件数 15件以下(過去4年間実績から) (未達繰越)

[インシデント・アクシデントレポート数](新規) 2880件/年 = 240件/月 (2020年度実績3,606件の80%)

● 信 頼

[紹介数] 800人/月 → 地域医療への貢献

● 診 療

[病床稼働率] 95%以上 [病床稼働数] 稼働病床に対して95%以上

[新規入院患者数] 500人/月 週入院数110人(20人×4日+10人×3日)

[平均在院日数] 10.0日 [外来受診患者数] 270人/日 外来診療枠の効率化

[救急車搬送受け入れ数] 600台/月 7200台/年 入院率40% 入院数2,880人

[重症例への対応能力の向上] ICU病床稼働率の向上(90%以上)+ 回転率の向上(2.8以上)+ HCU、SCUの効率的運用(稼働100%)

[手術件数(含:内視鏡手術+カテーテル手術)]

315件/月 手術室180件(整80・外40・乳10・脳15・泌15・心20)

カテ室60(カテ室稼働90件/月) 内視鏡75(内視鏡室稼働300件/月)

[感染対策 新型コロナウイルス感染症への対応] これ迄の対策の継続(入院については感染状況に応じて柔軟に対応5床~20床)

[診療報酬対応 収入増への挑戦] 加算チャレンジ 落穂拾い作戦 保険外での収入増案件の増加

[ドック・健診の充実] 800件/月 (1000万円/月)の達成と維持

● 労働環境

[時間外労働時間] 平均的残業時間 11時間以内(未達繰越)+ 働き方改革関連法による改定就業規則の遵守

[勤務環境改善] 勤務環境の改善により、『各部署従事者を惹きつけられる医療機関となり、「医療の質」を向上させ、患者の満足度も向上させる』工夫。(マネジメントレビューで報告)

[医師の働き方改革への対応] 勤務時間と自己研鑽時間の分離、その正確な測定。勤務内容の再構築

● 生産性

[業務の効率化] 各部署で最低1種の「改善活動」の創設(マネジメントレビューで報告)

● 研 鑽

[外部/内部研修] 学会、研究会等への参加、発表。論文作成(マネジメントレビューで報告)。

良い医療、質の高い医療の提供には研鑽が欠かせない。